

クイーン・ヴィクトリア・ビルディング (シドニー)  
 1898年に建造されたショッピング・モールです。  
 現在も洋服店やカフェ、雑貨店など、有名  
 ブランドを含む150以上の店舗が  
 入居しています。



# 世界の地域から

## 歴史的建築物の活用事例 (オーストラリア)



内部は改装され、エスカレーターなどが整備されています。店舗の占有率や利益率は高く、非常に成功したヘリテージ活用のひとつです。



オーストラリアの街中には多くの歴史的建築物（ヘリテージ）が残されています。それらは単に保存されているだけでなく、現役の建物としてオフィスやレストラン等に利用されています。内部を大胆に改造して、積極的に活用し経済的利益を生んでいます。観光地としてだけでなく、地元の人々も集まる人気の場所になっています。

ヘリテージとは、オーストラリアの歴史や社会を特徴付け、語るもので、後の世代に伝えていくべきものです。

= CLAIRメルマガ読者募集中！ =

観光、物産、交通、IT、環境など海外お役立ち情報満載のメールマガジンを好評配信中  
 右の二次元バーコード、または“CLAIRメルマガ”で検索、登録をお願いします





### 中央郵便局（シドニー）

1874年に建設され、現在はホテルやショップに使用されています。増築された現代建築部分は、古い部分と同じ砂岩を用い、新旧の建物が調和するように配慮されています。



内部は吹き抜けに改装されており、天井はガラス張りになっています。オフィスやジムなどが併設され、地下のバーとフードコートは、多くの若者で賑わっています。



### ファーストフード店もヘリテージ（シドニー）

お馴染みのファーストフード店も、重厚な建物を営業しています。



内部は通常のお店と変わりませんが、景観を配慮して、トレードマークのロゴは控えめにしています。



### 王立展示館（メルボルン）

1880年に開催された国際博覧会の会場として建設された展示館です。当時の博覧会会場の中で現存する唯一の建物であり、2004年に世界遺産（文化遺産）にカールトン庭園と共に登録されました。



ツアーが行われる観光地でもあります。現役の展示会場としても活用されています。